



研究代表者

乳腺腫瘍学講座  
 齊藤光江 教授

## 研究参加者

研究実施担当者	齊藤 光江
協力者 (教員)	入村達郎、江口英孝、尾関理恵、遠藤源樹、武藤剛
協力者 (上記以外)	小茂田昌代、永島里美、齊藤有希、後藤博史

2021年3月31日現在

## 特筆すべき取組事項 (キーワード)

- 1. 多職種シンポジウムで患者—医療者—科学者、医療行政を繋ぐ
- 2. 意見交換から抽出されたがん医療の課題に優先順位付け
- 3. がんの治療中に起こる有害事象の個体差に対する原因究明研究
- 4. 遺伝情報の扱い (薬情報提供時) を薬剤師会に申し入れた

## 主な取組内容

2018年にISPACOS(International Society of Patient-Centered Oncology Science)を立ち上げた。患者や家族を含み、がん医療に携わる様々な立場の人が運営委員となり、月に一度の運営委員会を開催し、**半年に一度のシンポジウム**の企画とがん医療の課題についてその解決に向けた討論を繰り返している。

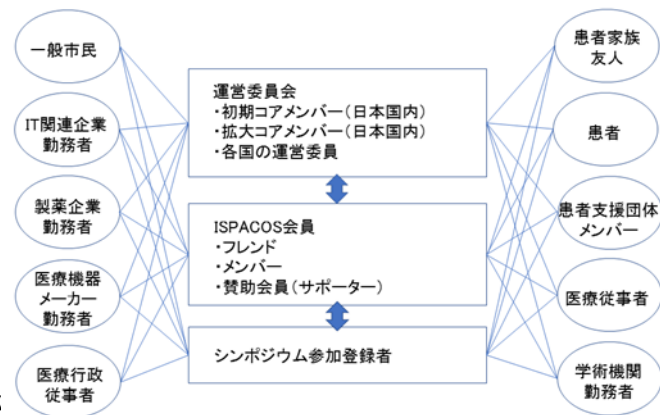
2020年11月までに5回のシンポジウム (東京3回、バンコク2回) を開催し、分子標的薬の有効性と副作用についての情報共有、様々な立場のstakeholderが繋がる方策、日タイのがん医療相互理解、COVID19感染症流行下でのがん医療、COVID19感染症流行下で国境を越える患者家族などについて、それぞれの回で意見交換をした。

更に6回目を2021年6月に予定している。

東京での第一回シンポジウムは大学の会議室で80名ほどが参加した。東京での2回目は、大学の講堂で150名ほど、東京での3回目はオンラインで200名ほどの参加があった。2020年には大学のブランディング事業に採択され、運営資金も得てHome Pageの刷新や記録集作成など、活動内容の充実が図ることができるようになった。

バンコクでの2回の開催は、タイ保健省や日本国大使館の後援、公立私立の病院の協力を得ている。

その他の活動としては、院外保険薬局で抗がん薬を処方されている患者の声を日本薬剤師会と日本病院薬剤師会に届け、薬情報を説明する際に遺伝情報や他人に知られたくない病名などの個人的情報が他人に聞こえないように厳重な配慮をする注意喚起の発出も実現した。



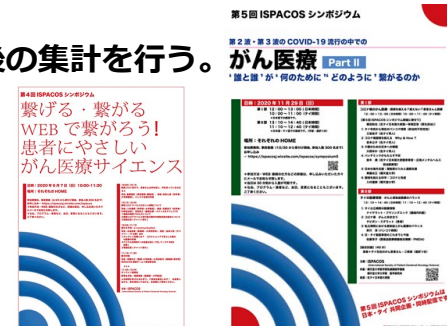
2021年1月26日東京大学 AMED iD3 キャタリストユニットのHPにISPACOSの活動に関するコラム掲載  
 2020年5月12日がん情報サイト「オンコロ」にISPACOSの記事が掲載  
<https://oncolo.jp/feature/200512t>  
 2020年3月13日「PHARMACY NEWSBREAK」にISPACOSの取組み掲載  
 2020年3月2日【日本薬剤師会、日本病院薬剤師会より、注意喚起通知が発出】オラパリブに関する服薬指導時の配慮についてISPACOSは、2019年8月5日に日本薬剤師会を、また、2019年11月6日には日本病院薬剤師会を訪問し「オラパリブに関する服薬指導時の配慮について (お願い) 」の要望書を提出。

## 事業申請時の計画に対する実施状況（2020年度分）

**実施計画1** 本計画表に示した実施計画を運営員会で更に具体化させ、各人が何を行うかというロードマップの作成。  
3年目と5年目に実施する外部評価と、シンポジウム開催ごとに行う内部評価の方法と指標を明らかにする。  
→毎月の運営委員会で明らかになってきたことを共有している。

**実施計画2** 連携に関する現状調査は2回実施するが、初回を実施する。調査票の作成、実施後の集計を行う。  
→2020年11月のバンコク主催のシンポジウムで、調査の結果、日タイの比較をした。

**実施計画3** 連携をテーマにしたシンポジウムの開催  
→2020年6月に日本で、11月にタイでISPACOSシンポジウムをWEB開催した。



## ブランディングに対する取組状況（2020年度）

### ①ブランディングに対する取組状況

- 上記成果について2021年3月に報告書「第5回ISPACOSシンポジウム記録集」を作成した。
- 国内外に本事業を広報するため、既存のHPの内容を拡充し、英語でも見られる新たなHPを作成した。
- 患者から集めた声が第一歩の日本薬剤師会、日本病院薬剤師会に申し入れ、両学会からの声明文発出に繋がった、遺伝性乳癌再発に対する薬説明時の配慮
- 治療と仕事の両立支援；優良企業の表彰とその後の追跡調査から、大中小規模の規模別ロールモデル構築と記録集作成
- シンポジウムは、海外進出（バンコク）も果たし、国家間での医療体制、患者と医療者の関係など、互いの学びを共有
- 患者中心の癌医療の一環として、がん治療と就労の両立支援に関して、2020.11.23に優良企業選出と表彰など、これまでの活動の集大成である、優良企業のその後を特集した小冊子を編纂

## 次年度に向けた計画（概要）、想定するブランディング活動【事業申請時計画】

### ①次年度に向けた計画（概要）

- ISPACOSの法人化
- 海外進出をカンボジア、韓国、中国、インドネシアに拡大することを計画
- 患者のニーズを基礎研究に繋げる具体例をいくつか創出する

### ②想定するブランディング活動

→2021年6月13日第6回ISPACOSシンポジウムをWEBで開催(日本・タイ・スウェーデン・カンボジア・中国)

成果物の社会実装は、2021年10月を想定し、連携する◎◎企業と継続し取り組む

